ガス給湯器
取扱説明書

商品コード
34-749型

ごあいさつ

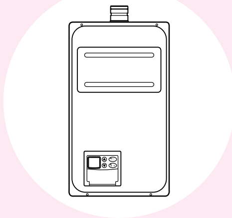
このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

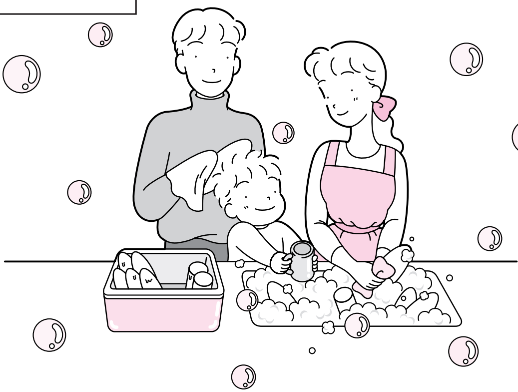
○別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型式名	YS1637SH



大阪ガス

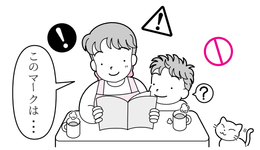
TE13

もくじ



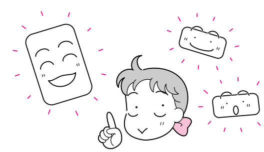
使用前に

特に注意していただきたいこと



1 ページ

各部のなまえとはたらき



7 ページ

使いかた

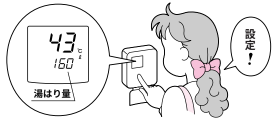
お湯の出しかた



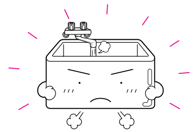
13 ページ

湯はりのしかた

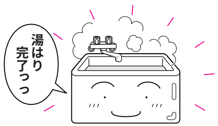
1. 湯はり温度・湯はり量を設定



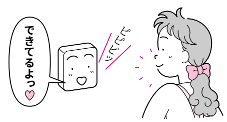
2. 給湯栓を開ける



3. 湯はり量になると



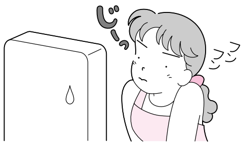
4. コールし、止水します。



17 ページ

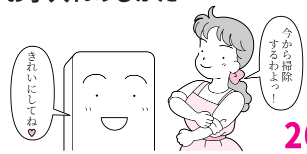
点検・お手入れ・他

点検のしかた



25 ページ

お手入れのしかた



26 ページ

故障かな？と思ったら



29 ページ

アフターサービス



33 ページ

この取扱説明書の本文中に出てくる「浴室リモコン」はカタログなどで記載している「シャワーリモコン」と同じものをいいます。

● 機器が不都合な場合あるいは、不明な点がある場合は、自分で修理しないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

も　く　じ	ページ

使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。
（例：ガス漏れのおそれがあります。）

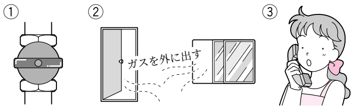
■注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味	絵表示	意味
⚠	特定しない一般的な危険・警告・注意	⃠	特定しない一般的な禁止
	感　電　注　意		火　気　禁　止
	高　温　注　意		接　触　禁　止
	発　火　注　意		ぬ　れ　手　禁　止
	必　ず　行　う		分　解　禁　止
	ア　ー　ス　必　要		

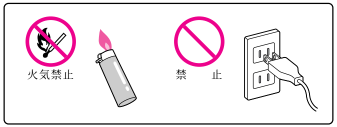
⚠危険

ガス漏れ時の処置

①すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
③販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。
（周辺の電話を使用しない。）



- 上記①〜③の処置が終わるまで絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話は使用しない。
  火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

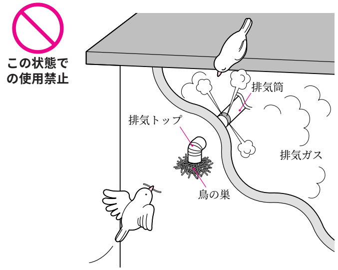


⚠危険

排気トップ・排気筒の点検について

- 排気トップ・排気筒は定期点検をする。
  ①排気筒がはずれていないか。
  ②排気トップが詰まっていないか。
  （鳥の巣・すすなど）
  ③排気筒がふさがれていないか。
- 上記①〜③の状態での使用禁止
  室内に排気が漏れて一酸化炭素中毒のおそれがあります。

わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

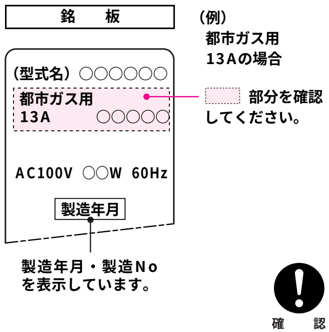


⚠警告

使用ガス・電源について

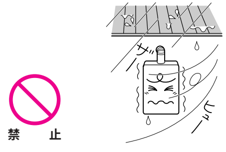
- 必ず銘板（機器前面に貼付）に表示しているガスの種類（ガスグループ）を使用する。
  表示以外のガスで使用すると爆発点火や異常燃焼などの原因になります。
- 電源は、AC100V・60Hzを使用する。
  他の電源で使用すると火災や感電などのおそれがあります。
- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致しているか確認してください。

わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



屋外設置の禁止

- この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対に設置しない。
  炎が風にあおられたり、雨水が機器に侵入したりすることにより火災や故障の原因になります。



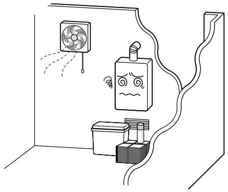
⚠警告

換気について

- 機器が設置してある室内の給気口は、絶対にふさがない。
- 機器を長時間使用する場合（浴そうへの湯はりなど）は、室内のレンジフードや換気扇を絶対に使用しない。（窓などを開けて換気する。）

排気ガスの逆流により、一酸化炭素中毒や不完全燃焼のおそれがあります。

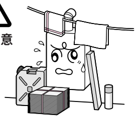
禁　止

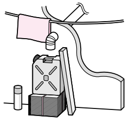


火災の予防

- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物（洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など）を置かない。

発火注意

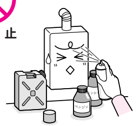




- 機器の周辺でスプレー・ベンジン・ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。

火災・爆発のおそれがあります。

禁　止



異常時・緊急時の処置

- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記①〜③の手順に従ってあわてずすみやかに処置し、すぐにお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

①給湯栓を閉じる。
②リモコンの運転スイッチを『切』にする。
③ガス栓、給水元栓を閉じる。

火災・一酸化炭素中毒のおそれがあります。

分解禁止

- 修理技術者以外の人は絶対に機器やリモコンを分解したり、修理・改造を行わない。

異常作動し、けがや思わぬ事故の原因になります。

分解禁止

機器の設置・移動工事について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。

火災や思わぬ事故の原因になります。

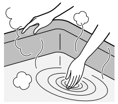
やけどに注意

- シャワーなどお湯を使用する場合は、まず手のひらでお湯の温度を確かめてから使用する。

高温注意



- 入浴の際は、手でお湯の温度を確かめてから入浴する。

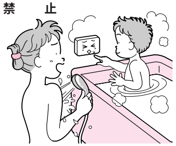


確　認

- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。

やけどのおそれがあります。

禁　止



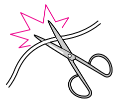
⚠注意

電源コード・プラグについて

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えない。

感電やショート発火による火災のおそれがあります。

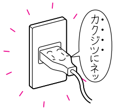
感電注意



- 電源プラグの差し込みは確実に行う。

差し込みがゆるいと感電や火災のおそれがあります。

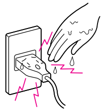
確実に



- 濡れた手で電源プラグをさわらない。

感電のおそれがあります。

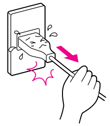
ぬれ手禁止



- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない。

電源コードが断線し、発熱や発火の原因になります。

禁　止



- 電源プラグはほこりをふき取る。

発火の原因になります。

ふき取る



アースの確認

アース必要

- この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

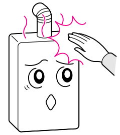
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。

やけどに注意

- 使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。

やけどのおそれがあります。

接触禁止



用途について

- 給湯、シャワー以外の用途には使用しない。

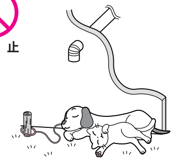
思わぬ事故の原因になります。

排気トップの周囲について

- 排気トップからの排気ガスによって、加熱されて困るもの（植木・ペットなど）を置かない。

植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

禁　止



お願い

点火・消火の確認
- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

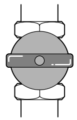
飲用に使用するときは
- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水として使用してください。
  その後、飲用や調理用に使用してください。

市販の補助具について
- この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。
  思わぬ事故の原因になります。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。

日常の点検・お手入れについて
- 点検・お手入れは手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。
  （25～28ページ参照）
- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
  湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応して青く変色することがあります。
- リモコンを掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。
  リモコンが変形する場合があります。

この機器は一般家庭用です
- 業務用のような使いかたをすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合
- 長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを予防するため閉じ、水抜きを行ってください。
  （24ページ参照）



閉じる

凍結に注意
- 冬期は凍結による機器の破損を予防するため、必要な処置を行ってください。
  （23～24ページ参照）
  凍結すると水漏れや故障の原因になります。

断水時の処置
- 断水時は給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、11ページからの『使いかた』に従って操作してください。

特監法対象機器です。
- この機器は『特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律』の対象機器です。
  法定の表示ラベルが所定の位置に貼り付けてあることを確認してください。

（貼付位置は「工事説明書」に記載しています。）

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第６条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

確認

お願い

積雪時における注意
- 積雪時には排気トップ・給気口の点検、除雪を行ってください。
  排気トップ・給気口がふさがれると不完全燃焼の原因になります。
- 積雪や屋根からの落雪により排気トップが倒れたり、傾いたりしている場合は、落雪対策が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

停電時の処置
- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。11ページからの『使いかた』に従って操作してください。
- 湯はり中に停電すると止水しません。すぐに給湯栓を閉じてください。

リモコンについて
- リモコンは子どもがいたずらしないよう注意してください。
  急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。
- リモコンには水をかけないでください。
  浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけると故障の原因になります。

禁止



運転停止時の注意
- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。

排気ガスについて
- 増改築などにより、排気ガスが直接建物の外壁や窓（線入、網入板ガラス）、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
  ガラスが割れたり、変色する原因になります。

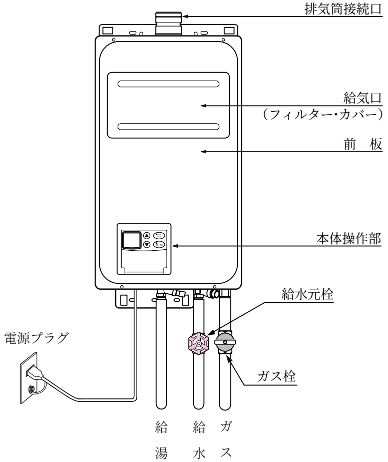
定期点検について
- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）

お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

各部のなまえとはたらき

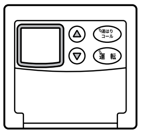
機器本体

● 強制排気式



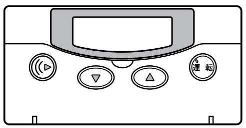
● リモコンの種類

［本体操作部］

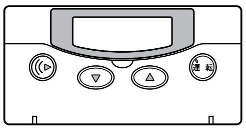


機器本体に組み込まれています。

［浴室リモコン］



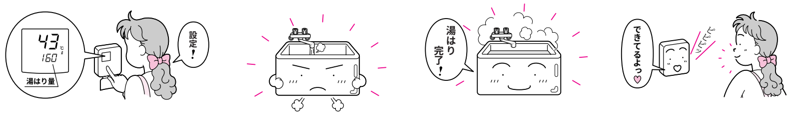
［増設リモコン］



特　長

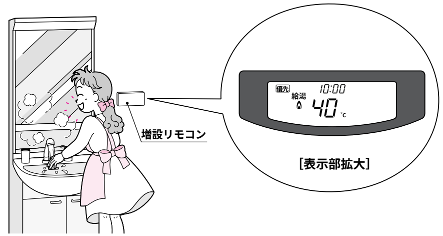
◎湯はりオート止水機能（本体操作部のみ使用可能）

1．湯はり温度・湯はり湯量を設定　2．給湯栓を開ける　3．湯はり湯量になると止水し、　4．コールします。



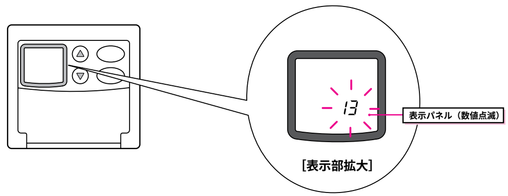
◎給湯設定温度を変えられ、温度が一目でわかるデジタル表示（各リモコン）

（例）洗面所



◎万一の異常をお知らせする故障表示付（各リモコン）

（例）本体操作部



◎万一機器に異常燃焼が発生したとき自動的にガスを止める不完全燃焼防止機能付。

本体操作部

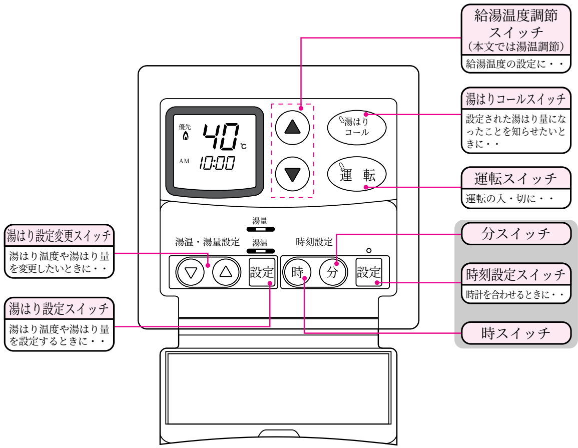
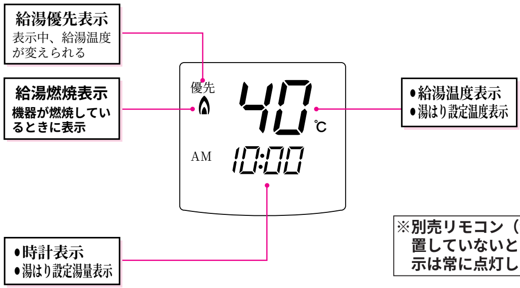


表　示　画　面

［例］給湯設定温度40℃、時刻AM10:00のとき

使用状態により、表示は異なります。



※別売リモコン（浴室・増設）を設置していないときは、給湯優先表示は常に点灯しています。

浴室リモコン・増設リモコン［別売部品］

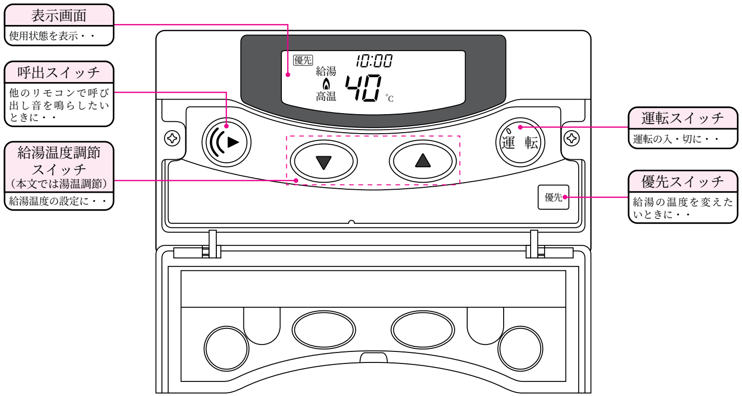
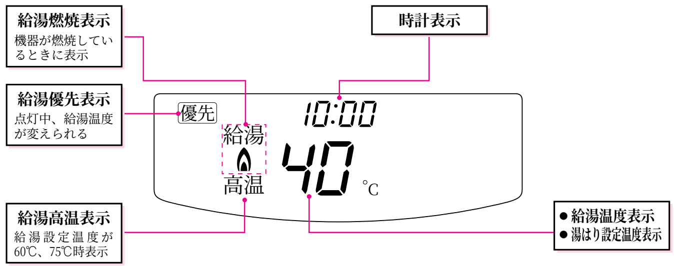


表　示　画　面

［例］給湯設定温度40℃、時刻AM10:00のとき

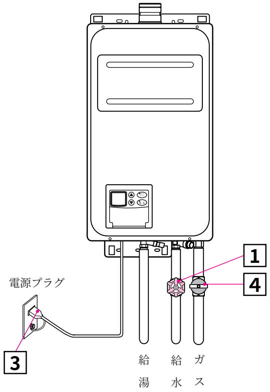
使用状態により、表示は異なります。

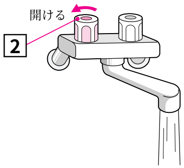


はじめてお使いになるとき

運転前の準備と確認

1～4の手順で行ってください。





1 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

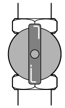
台所または洗面所などの給湯栓を開け、水の出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

3 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」にする。

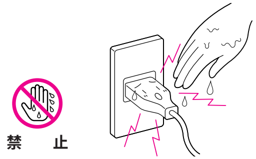
4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。



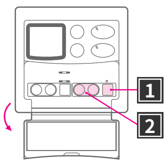
⚠注意

- ぬれた手で電源プラグをさわらない。
  感電のおそれがあります。



現在時刻の合わせかた（本体操作部で時刻設定操作をします。）

本体操作部

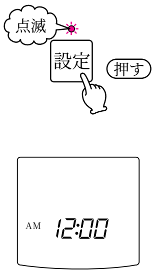


浴室リモコン・増設リモコン

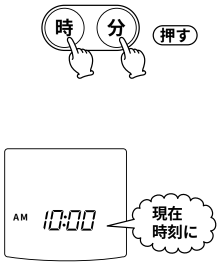
時刻設定操作
はできません

※本体操作部で設定すると浴室・増設リモコンも設定されます。

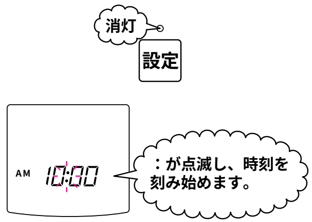
1 設定スイッチを押す



2 時・分スイッチを押す



約10秒後ランプが消えて
時刻を刻み始めます。

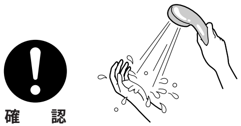


- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを押した後、約10秒以内に「時・分スイッチ」を押さないと自動的に時刻を刻み始めます。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が表示されます。
- 時刻設定をする場合は午前（AM）と午後（PM）を間違えないように設定してください。

お湯の出しかた

⚠警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。
  やけどのおそれがあります。

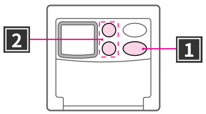


- シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。
  やけどのおそれがあります。

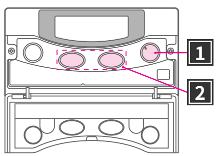


1 ～ 4 の手順で行ってください。

本体操作部



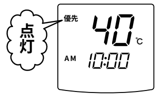
浴室リモコン・増設リモコン



1 運転スイッチを押す

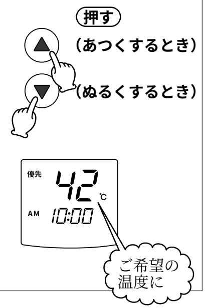


表示は本体操作部の例です。
表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



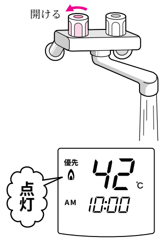
※すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

2 湯温調節スイッチを押す



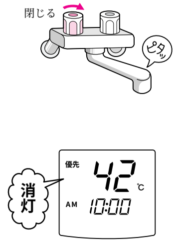
3 お湯を出す

給湯栓を開ける。



4 お湯を止める

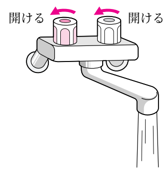
給湯栓を閉じる。



- 優先表示が点灯していることを確認してください。消灯している場合は15ページの（優先表示の切り替えかた）に従い、使用するリモコンを優先にしてください。

ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞りすぎたときや水温が30℃に近いときおよび、ソーラシステムと接続しているときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



給湯設定温度について

■はじめて使用するとき

給湯温度は40℃に設定されています。

■給湯温度のめやす

この範囲は1℃単位で調節できます。（37～50）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60	75	℃

給湯・シャワー（38～42）
あつめの給湯（44～48）
高温（60～75）
食器洗いなど（37～）

- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり電子音「ピッピッピッピッ」でお知らせします。
- 「▲」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。
  60℃、75℃にするときは、もう一度押してください。

お湯の出しかた

⚠警告

- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼表示が消灯していることを確認する。
- 燃焼表示が点灯している時の優先の切り替えはしない。
- 使用する前に、リモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。

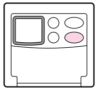
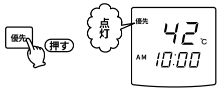
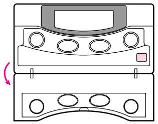
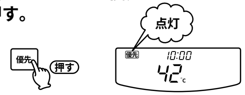
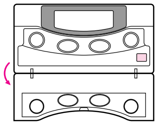
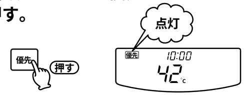
やけどのおそれがあります。

優先表示について

- 複数のリモコンがある場合は優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

- 運転スイッチがすでに「入」の状態（給湯温度を表示している状態）で示しています。
- 優先にしたいリモコンの優先表示が消灯していることを確認してください。

優先にしたいリモコン	優先表示の切り替えかた	
本体操作部 	● 本体操作部の運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする。  本体操作部 表示画面	または ● 優先表示が点灯しているリモコンの優先スイッチを押す。  本体操作部 表示画面
浴室リモコン 	● 浴室リモコンの優先スイッチを押す。  浴室リモコン 表示画面	※増設リモコンが優先になっている場合は、浴室リモコンでは優先切り替えできません。 一旦、本体操作部を優先にした後、浴室リモコンの優先スイッチを押してください。
増設リモコン 	● 増設リモコンの優先スイッチを押す。  増設リモコン 表示画面	※浴室リモコンが優先になっている場合は、増設リモコンでは優先切り替えできません。 一旦、本体操作部を優先にした後、増設リモコンの優先スイッチを押してください。

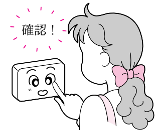
⚠警告

- 前回に設定したお湯の温度を記憶しているため、高温(60℃・75℃)で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。

やけどのおそれがあります。



確かめる

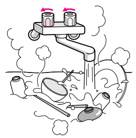


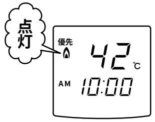
給湯設定温度の記憶について〔各リモコン(本体操作部含む)で最後に設定された温度を記憶します。〕

- 本体操作部で紹介をしますが、他のリモコンでも同じ操作方法です。

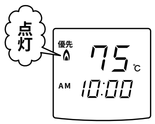
台所

お湯を使う。
温度調節を行う。



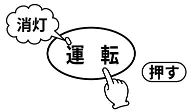


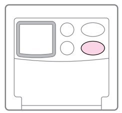
75℃設定の場合



⇨

本体操作部の運転スイッチを「切」にする。

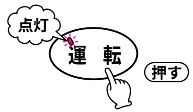


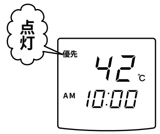


リモコンが温度を記憶します。

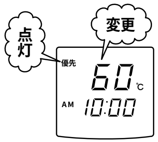
⇨ 再びお湯の使用

本体操作部の運転スイッチを「入」にする。



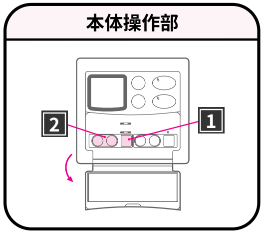


75℃設定の場合

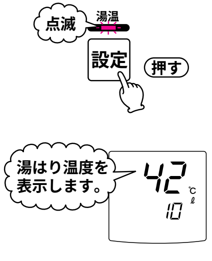


湯はりのしかた

湯はり温度の合わせかた



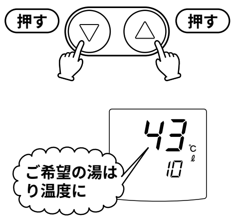
1 設定スイッチを1回押す



- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを1回押した後、約10秒以内に「湯はり設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている温度に設定されます。
- はじめてお使いになるときは、42℃が表示されます。

2 湯はり温度の設定

湯はり設定変更スイッチで湯はり温度の設定をする。



湯温を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

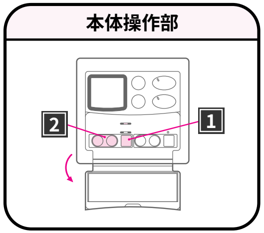
湯はり温度について

■はじめて使用するとき
湯はり温度は42℃に設定されています。

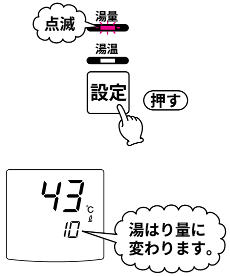
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	℃
ぬるめ			ふつう			あつめ						

- 表示されている温度は設定温度で実際の湯はり温度とは、浴そうの種類や配管条件などにより、多少異なりますのでめやすとしてください。
- 一度、湯はり温度を設定すると記憶します。ただし停電後は42℃設定にもどります。

湯はり量の合わせかた



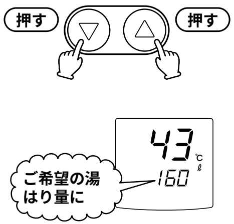
1 設定スイッチを2回押す



- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを2回押した後、約10秒以内に「湯はり設定変更スイッチ」を押さないと自動的に表示されている湯はり量に設定されます。
- はじめて設定スイッチを2回押したときは、10 ℓ が表示されます。

2 湯はり量の設定

湯はり設定変更スイッチで湯はり量の設定をする。



湯はり量を変えたいときは、湯はり設定変更スイッチを10秒以内に押してください。

湯はり量について

■はじめて使用されるとき
湯はり量は10 ℓ に設定されています。

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約160 ℓ	約190 ℓ	約240 ℓ

- 湯はり量は10 ℓ 〜630 ℓ までの設定ができます。
- 湯はり設定変更スイッチを1回押すごとにまた押し続けると10 ℓ ずつ設定湯量が変わります。
  ※「△」スイッチは630 ℓ まで、「▽」スイッチは10 ℓ までしか表示できません。
- 表示されている湯量はめやすとして使用してください。
- 一度、湯はり量を設定すると記憶します。

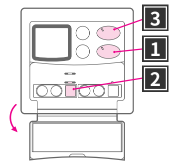
湯はりのしかた

浴そうの確認

● 浴そうの排水栓を閉じる



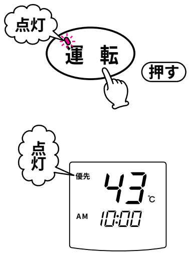
本体操作部



⚠警告

● 夏場など水温が高い場合、設定温度よりも高い温度のお湯が浴そうにはられる場合があるため、湯はり中や入浴前には必ずお湯の温度を確かめてから入浴する。
やけどのおそれがあります。

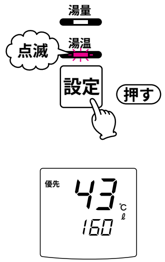
1 運転スイッチを押す



※すでに運転スイッチを押している場合は、この操作は必要ありません。

2 湯はり温度・湯はり量の確認

設定スイッチを1回押す。

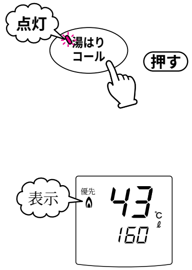


数秒後、表示は消えます。

ワンポイントアドバイス

- 「湯はりコール」使用中でも湯はり温度は変更することができます。
  17〜18ページ「湯はり温度の合わせかた」に従って操作してください。
- 「湯はりコール」使用中、他の給湯栓を使用したりすると湯はり量が少なくなります。
- 「湯はりコール」使用中は浴室リモコン・増設リモコンに優先切替できません。
- 「湯はりコール」使用中は、湯温調節スイッチでの給湯設定温度変更はできません。
- 浴室リモコン・増設リモコン優先時に湯はりコールスイッチを押すと、自動的に優先表示が本体操作部に切り替わります。
- 湯はりコールスイッチを押すと常に湯はり温度が最優先となります。
- 湯はりコールスイッチを押したあとの給湯設定温度は自動的に湯はり設定温度と同じ温度に変わります。
- 湯はり中に給湯栓を開くと、湯はり設定温度で出湯されます。

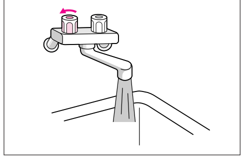
3 湯はりコールスイッチを押す



湯はり量は約10秒間表示し、自動的に時刻表示にもどります。

湯はりコールスイッチを押すと設定温度は37〜48℃となります。

4 給湯栓を開く



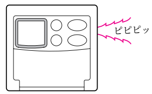
● 湯はり運転中は給水栓を開けないでください。
※設定された湯はり量よりも湯量が増え、浴そうからお湯があふれる場合があります。

湯はり完了！

設定した湯量になると止水します。

● 湯はりが完了するとアラームでお知らせします。（湯はりコールランプ点滅）

アラームは3分おきに約14秒間鳴り続けます。（10回繰り返します。）



5 止水解除

● 湯はりが完了したら、必ず下記の方法で止水解除してください。

※止水解除をしなければ給湯栓を開いても水は出ません。

止水解除方法

①全ての給湯栓を閉じてください。
②湯はりコールスイッチを押すか運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
⇩
湯はりコールランプ消灯。

湯はりランプ消灯後、約15秒間は給湯栓を開けないでください。止水解除されなくなります。
給湯栓を開けた場合は上記①、②に従い、再度止水解除を行ってください。

■サーモミキシング式給湯栓を使用している場合

● 湯はり時は必ず湯温調節レバーを『H』または『高』の位置までまわして使用してください。

中間の位置で使用すると湯はり止水しても水が止まらず、浴そうからお湯があふれる場合があります。

※湯はり完了後（アラーム報知後）すぐに給湯栓を閉じ、湯温調節レバーをシャワー温度（約40℃）の位置に戻してください。

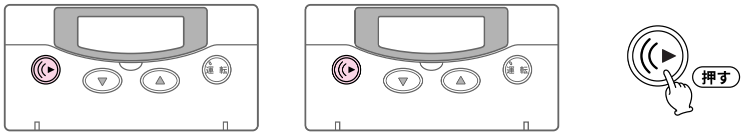
使いかた

呼び出し音を鳴らしたいとき

浴室リモコン(別売部品)または、増設リモコン(別売部品)を使用されているときのみ、人を呼ぶ必要が生じたときなどに声を出さずに知らせることができます。

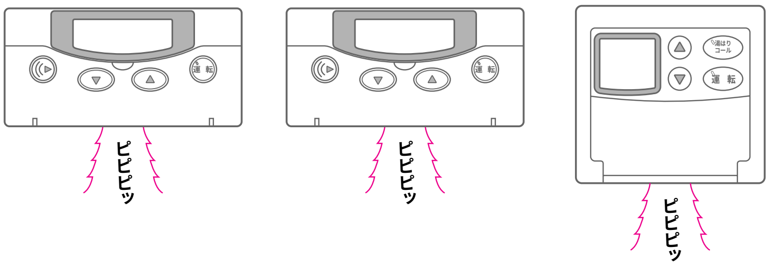
1 浴室リモコンまたは増設リモコンの呼出スイッチを押す。

[浴室リモコン] [増設リモコン]



2 各リモコンで呼出音が鳴ります。

[浴室リモコン] [増設リモコン] [本体操作部]



- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。
  (押し続けている間鳴り続けます。また、手をはなした後も数秒間鳴り続けます。)
- 浴室から呼び出し音を鳴らすことができるので、シャンプーや石けんなどがなく困ったときも呼出スイッチがあれば便利です。

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

この機器には8つの安全装置が組み込まれています。安全装置の役割、はたらきなどは下記の通りです。

安全装置	作動理由	はたらき(現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。(機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差し(機器用屋内ブレーカーを「切」「入」)してから使用してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。	特に処置は必要ありませんが、特に冷え込みが厳しいときは、凍結予防のしかたもご覧ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の逃し弁より圧力を逃すためお湯が出ます。給湯栓を閉じた後もお湯が出ることがあります。	床面をぬらしますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
不完全燃焼検出装置	異常燃焼が発生したとき	自動的にガスを止めます。	32ページをご覧ください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

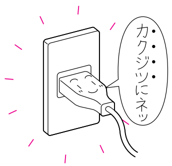
凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法（通常の寒さのとき）

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

● 電源プラグが差し込まれていることを確認する。



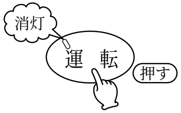
運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

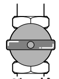
■外気温が-10℃よりも低いときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

通水による方法（冷え込みが厳しいとき）

1 浴そうのお湯を排水する。
2 運転スイッチを「切」にする。

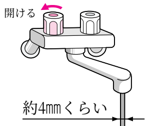


3 ガス栓を閉じる。



ガス栓

4 給湯栓より水を少量流す。
（1分間に約400cc・・・太さ約4mm）



5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

1 運転スイッチを「切」にする。
2 ガス栓を閉じる。
3 給水元栓を閉じる。
4 給湯栓を全開にする。
5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
6 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。
凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

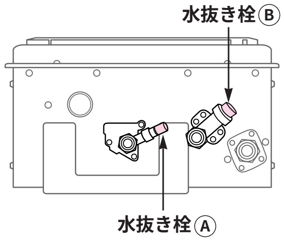
機器内の水を抜く方法（長期間使用しないときや冷え込みが厳しいとき）

⚠注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。

やけどのおそれがあります。

1 電源プラグを抜く。（機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にする。）
※電気が遮断されて困るような、電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。
2 ガス栓を閉じる。
3 給水元栓を閉じる。
4 すべての給湯栓を全開にする。
5 水抜き栓 Ⓐ Ⓑ を左に回して取りはずす。



（ 機 器 底 面 ）

再び使用するまでそのままにしておく

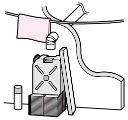
給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。
機器の水抜きをするときは、洗面器などの容器を準備してください。

再度使用するとき

1 水抜き栓 Ⓐ Ⓑ をしっかりと取り付ける。
2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。
3 必ずすべての給湯栓を閉じてから11ページからの「使いかた」に従って使用してください。

点検・お手入れ

点検（月に1回程度）

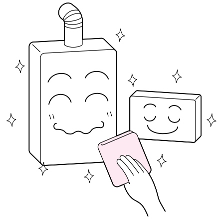
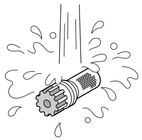
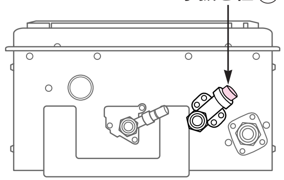
	点検のしかた	処置
機器および周辺	機器の周りや排気トップ・排気筒のそばに燃えやすいものを置いていませんか？  発火注意 	燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどがありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 
	機器の外観に異常がありませんか？ 排気トップおよび給気口にほこりや、変色したあとがありませんか？	
	機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありませんか？	

定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
この場合は有料となります。

お手入れ（月に1回程度）

■給水元栓・ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
■機器の前板を外したり、リモコンを分解しないでください。

	お手入れのしかた
機器本体・リモコン	固くしぼった布で汚れをふきとってください。 ベンジンやシンナーなどは使わないでください。 機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。 リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。 リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。 
水フィルター	1 給水元栓を閉じる。 2 水抜き栓Ⓑを左に回してはずす。 3 水抜き栓Ⓑの水フィルターを水洗いして掃除する。  水抜き栓Ⓑ  （機器底面）

点検・お手入れ

お手入れ（月に1回程度）

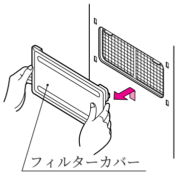
■運転スイッチは「切」にする。
■給気フィルターにほこりやゴミが詰まると本体操作部やリモコン表示部に2けたの数字を表示し点灯します。
点灯したまま使用されますと、2けたの数字が点滅し機器の燃焼が停止します。
このような場合は次の手順でそうじしてください。

お手入れのしかた

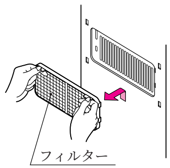
給気フィルター

1 フィルターカバーを取りはずす。
- フィルターカバーを上方にスライドさせて取りはずしてください。

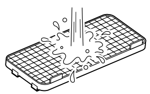
※フィルターカバーの下部コーナーを親指で上方へ押し上げるとはずしやすいです。



2 フィルターを取りはずす。
- フィルターの取っ手を持って上方にスライドさせてフィルターを取りはずしてください。



3 フィルターをそうじする。
- 掃除機で吸い取るか水洗いしてほこりやゴミを取り除いてください。
- フィルターはたたいたりしないでください。
- ベンジン、シンナー、みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯はかけないでください。



変形、破損の原因になります。

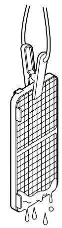
お手入れ（月に1回程度）

お手入れのしかた

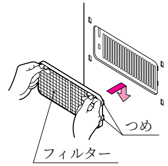
給気フィルター

4 乾燥させる。（特に水洗いなどしたとき。）
- 直射日光に当てたり熱を加えないでください。
- ぬれたまま取り付けないでください。

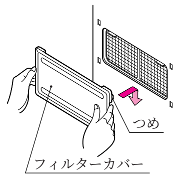
変形、破損、故障の原因になります。



5 フィルターの取り付け。
（取りはずしと逆の方法です。）
- フィルターの「つめ」（4ヶ所）を確実に引っかけ下方にスライドさせて取り付けてください。
- 確実に取り付けができないと本体操作部やリモコン表示部が「03」の数字を表示してお知らせします。
- 確実に取り付けてください。



6 フィルターカバーの取り付け。
（取りはずしと逆の方法です。）
- フィルターカバーの「つめ」（4ヶ所）を確実に引っかけ、下方にスライドさせて取り付けてください。



再使用するときは、11ページからの「使いかた」に従って操作してください。

- 給気フィルターが破れたり、変形、破損したときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

■点検・お手入れ後の確認
- 点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き機器が正常に作動しているか確認してください。万一、異常音・悪臭を感じられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
● リモコンの運転ランプが点灯しない。（時計表示が消えている。）	● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？	6 22
● 給湯栓を開けてもお湯にならない。（水のまま）	● 停電していませんか？ ● 漏電安全装置が作動していませんか？ ● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓･給水元栓が全開になっていますか？	6 22 11〜12 11〜12
● 給湯栓を開けても水が出ない。	● 断水していませんか？ ● 凍結していませんか？ ● 湯はり後、止水解除しましたか？	5 23〜24 20
● 高温のお湯が出ない。	● 湯温調節は適切ですか？ ● ガス栓が全開になっていますか？	13〜14 11〜12
● 低温のお湯が出ない。	● 湯温調節は適切ですか？ ● 機器の水フィルターが詰まっていませんか？ ● 給湯栓･給水元栓が全開になっていますか？ ● ソーラーシステムを使用していませんか？	13〜14 26 11〜12 14
● 使用中、湯温が極端に変動する。	● ガス栓が全開になっていますか？ ● 給湯栓･給水元栓が全開になっていますか？	11〜12 11〜12

※リモコンに故障表示が点滅している場合でも、まず上表に従ってお調べください。お調べ後でも故障表示が点滅している場合は31ページの故障表示についての項を参照してください。

● 以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさらないでください。

■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●給湯栓を絞ったら水になる。	●給湯栓からのお湯が1分間に約2.5ℓ以下になると消火します。
●給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない。	●機器から給湯栓までの距離があるため、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
●お湯が白く濁っている。	●白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
●低温のお湯が出ない。	●夏場などの水温が高いときやソーラシステムと接続したときは、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか水と混ぜて使用してください。
●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音（ブーン）がする。	●再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間ファンがまわる音です。
●時計表示が「0：00」になっている。 ●給湯設定温度が40℃、湯はり設定温度が42℃にかわっている。	●停電など、一時的に電源が切れた後は、時計表示が「0：00」になります。給湯設定温度・湯はり設定温度も初期設定温度に戻りますので、再設定してください。
●停電復帰後にお湯が出ない。（リモコンがある場合）	●お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電してもリモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。 再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
●寒い日に排気トップから白い煙が出る。	●冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。
●給湯栓を閉じると機器の給湯側水抜き栓より水が、一時的にポタポタでることがある。（特に水圧が高い地域）	●これは機器内の圧力が高くなり、過圧防止安全装置（P22）が作動して水が出る現象で異常ではありません。このようなときは床面をぬらしますので、不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
●機器の音が高い	●水圧が高い地域では機器の通水音が高くなる場合があります。
●長時間連続で使用していると途中で水になった。	●連続で1時間以上使用すると自動的に運転が停止するタイマーが組み込まれているためです。（本体操作部に「01」が表示され、点滅します。） 給湯栓を閉じ、運転スイッチを「切」にした後、約10分以上待ってから使用してください。

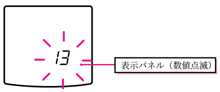
※排気筒先端に過度の風がかかると異常音が発生したり途中失火する場合がありますが、故障ではありません。給湯栓を閉じて再度操作してください。

故障かな？と思ったら

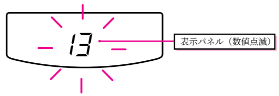
故障表示をお調べください。

● 機器に不具合が生じると、本体操作部やリモコン表示部が下記のように2けたの数字を表示し、点滅します。

本体操作部



浴室リモコン



画面表示	内容	処置方法
01	給湯連続使用タイマー作動	30ページ参照
03	給気フィルターの外れ	28ページ参照
05	給気フィルターの詰まり	27ページ参照
11	バーナー点火せず	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、表示が出なければ正常です。
12	バーナー途中消火	
13	排気ガスセンサーの作動	
14	安全装置の作動	
16•30	給湯温度制御系統の不具合	
31	給湯温度測定装置の不具合	
32	給水温度測定装置の不具合	
35	ミキシング温度測定装置の不具合	
※1　38	排気ガスセンサーの寿命予告報知	
51	ガス電磁弁系統の不具合	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
65	水通路の不具合	
71	電装系統の不具合	
72	炎検出系統の不具合	
70•73	制御回路の不具合	
74•75•76	リモコン系統の不具合	
90	給排気系統の不具合	
※2　99	排気ガスセンサーの作動	

※1.　排気ガスセンサー（不完全燃焼検出装置）の耐用時間を超えた場合に表示します。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに修理を依頼してください。

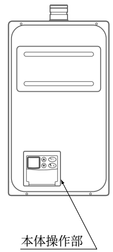
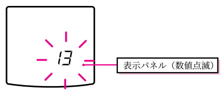
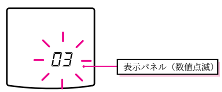
※2.　排気ガスセンサー（不完全燃焼検出装置）の作動が繰り返し起こった場合に表示します。そのままではご使用いただけませんので、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに修理を依頼してください。

● 処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

■修理を依頼される前に次のことを調べてください。

● 本体操作部やリモコン表示部に数字が点灯・点滅したとき。

※運転中に数字が点滅して燃焼が停止したときは安全のため約10分間ファンが回りますが故障ではありません。

こんな場合	理由	お知らせランプ	処置
● 使用中にお湯が水になる。 ● 本体操作部やリモコン表示部に数字が点灯・点滅する。 ● 電子音「ピー」が鳴る。 ● 故障表示番号「13」が点滅する。  	● 給気フィルターが詰まったりふさがれて給気不足になったとき。 ● レンジフードや、換気扇の換気が強く機器への給気不足となったとき。 ● 長時間ストーブなどの使用で部屋の給気が不足したとき。 ● 排気筒や排気トップが塞がれているとき。	点灯したとき	● 必ず給気フィルターをはずしてそうじしてください。（そうじのしかたは、27・28ページ参照） ● レンジフードなどを「弱」にしてください。 ※再使用するときは、窓や換気口を開けて、部屋の空気を入れ替えた後、使用してください。
		点滅したとき	● 正常な給排気が行われていない可能性があります。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
● 使用できない。 ● 本体操作部やリモコン表示部に数字が点滅。 ● 故障表示番号「03」が点滅する。 	● 給気フィルターが正しく取り付けられていないとき。		● 給気フィルターを正しく取り付けてください。（取り付けかたは、27・28ページ参照） ※再使用するときは、運転スイッチを「切」にし、再度「入」にするとお知らせランプが消え使用できます。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 29～32ページの「故障かな？と思ったら」を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
  なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品　名　ガス給湯器
2. 大阪ガス商品コード　例 (N) 34-749 (U) 大阪ガス株式会社
   （機器前面中下に貼付の銘板に記載してあります。）
3. 故障または異常の内容・エラー番号（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の最低保有期限は、製造打ち切り後10年間です。
  但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

仕　様

項目		仕様
品名		ガス給湯器（瞬間先止め式）
商品コード		34-749型
型式名		YS1637SH
種類	給（出）湯方式	先止め式
	給排気方式	強制排気方式
点火方式		連続スパーク、ダイレクト着火
最低作動水量		2.5ℓ/分［作動水圧 9.81 kPa {0.1kgf/㎠}］
排気温度		260℃以下
外形寸法		(高さ)600㎜×(幅)350㎜×(奥行)180㎜
質量（本体）		20kg
接続	給水	15A（R1/2）
	給湯	15A（R1/2）
	ガス	15A（R1/2）
電気	使用電源	AC100V（60Hz）
	消費電力	93W
	待機消費電力	7W
	凍結予防運転時	122W
排気筒		φ60（最大7m4曲）※詳細は設置・工事説明書参照
安全装置		立消え安全装置（フレームロッド方式）・水量センサー・過熱防止装置・残火安全装置・不完全燃焼検出装置・過昇温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置（漏電遮断器）・凍結予防装置（水抜き栓、凍結予防ヒーター）
付属品		●取扱説明書　●工事説明書　●保証書　●お問い合わせ先一覧表 ●木ねじセット（絶縁ブッシュ付）
別売部品		●浴室リモコン　●増設リモコン　●配管カバー　●排気トップ

ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量 kW 最大	出湯能力 ℓ/分（ガス消費量最大時） 上昇温度 25℃	40℃	ガス接続
都市ガス	13A	34.9 {30,000kcal/h}	16.0	10.0	15A（R1/2）
LPガス		34.9 {2.50kg/h}	16.0	10.0	

備考
- 出湯能力は給水圧力98.1kPa {1kgf/㎠} のとき。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。